

茅ヶ崎セントラルクリニック 川野 和雄(運転手・施設管理)

功 績 68台あるテレビ側イヤホンジャックと壁埋め込みイヤホンジャックの連携について不具合が生じていたが、電気屋さんに頼まずに自身で修理した功績。

推 薦 者 松本 正

推 薦 理 由 看護師やMEからも「穿刺や返血などの作業がやりやすくなった。コードはやっぱり邪魔だったんだ」と言われ、医療職の仕事のしやすさにも貢献しており、何よりも患者さんの視界が良好になったことはクリニックとして非常に有意義と考え、この行動を理事長賞に推薦したいと思います。

内 容

茅ヶ崎セントラルクリニックは透析施設ですので、患者さんの診療時間が4時間から5時間と長いです。その為、テレビをベッドごとに設置しております。テレビが68台あるので、皆さんはイヤホンで聞いています。ベッド脇にイヤホンジャックの差込口があり、テレビ側にもイヤホンを差している設備があり、ベッド脇のイヤホンジャックにイヤホンを差し込むとそのテレビからの音が聞こえる仕組みとなっています。

設備として30年経っている事で、ベッド脇のイヤホンジャックもテレビ側のプラグも機能なくなり音が聞こえませんでした。その為、長いコードのイヤホンを用意してテレビに直接差して聞いていました。長いコードがコンソールの脇にぶら下がっている光景はあまり見栄えが良いものではありませんでした。電気屋に以前見てもらっていて、見積もりの話もしたそうですが、かなり高い金額になると言われ諦めていた経緯があります。

この見た目を変えたいと思って、川野さんが提案してきたのはイヤホンジャックの自己修理でした。

1個60円のジャックとプラグを70個ずつ買って、1個1個ハンダ付けして代替のジャックとプラグを作り、休日出勤して1個1個付け替えていきました。高所での作業もあり、心配していましたが、現在別の不具合がある1台を残すのみとなり、コードが垂れている光景は無くなり、非常に見通しが良くなりました。